

第一内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体と通常の診療で得られた過去の記録を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 呼吸器疾患におけるオートタキシンとリゾホスファチジン酸の意義に関する研究

[研究機関] 北海道大学病院第一内科

[研究責任者] 南須原 康行（医療安全管理部・准教授）

[研究の目的] 炎症反応や組織の線維化などに関連性があるとされているオートタキシンとリゾホスファチジン酸について呼吸器疾患患者の体液中の量を検討して呼吸器疾患におけるこれらの役割を解明することを目的としています。具体的には、間質性肺疾患と喘息の患者さんの血液や肺胞洗浄液、喀痰中のオートタキシンとリゾホスファチジン酸の量を測定して、これらと疾患の重症度や治療との関係を明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

- 対象となる患者さん
間質性肺疾患と喘息の患者さんで、平成 15 年 1 月 4 日から平成 22 年 3 月 31 日の間に診断のために採血や喀痰採取および肺胞洗浄検査を受けた方の中で、検体の保存、研究への利用について文書による同意をいただいている方
- 利用する検体
血液、肺胞洗浄液、喀痰
- 利用するカルテ情報
診断名、年齢、性別、検査結果（主に呼吸器疾患の臨床検査）、治療歴

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院医療安全管理部 担当医師 南須原 康行
電話 011-706-5911 FAX 011-706-7899